

アジア太平洋トレードセンター株式会社
令和 6 年度経営再建計画

概要

当社は特定調停に基づく再建計画の着実な遂行を重点目標としている。返済計画を維持するための資金残高確保のため、不動産賃貸事業者としての競争力の強化により安定的な収益を確保しつつ、施設の経年に対応するための保全工事を行い、A T C ビルの不動産価値の維持及び向上を目指す。また、咲洲地区の賑わい創出のために集客機能の一層の強化を図るとともに、公共部門の活性化を通して産業振興に寄与する。

(目標 1) 特定調停に基づく債務の返済及び返済等のための資金の確保

- ・ A T C ビルは築 30 年が経過しており、今後多額の保全工事費用が必要となるが、適切な管理や改修を行うことにより、その不動産価値を維持向上させつつ、同時にコスト削減も図ることで収益を向上させる。
- ・ 令和 6 年度は、A T C ホールにおいて、特定天井脱落対策工事に加え、保全計画を前倒しして、開館中では工事が困難な空調機やエスカレーター等の関連設備を更新する。
- ・ 同更新工事による資金支出、共用部にかかるエネルギーコストの上昇等の影響を引き続き受けることを想定しているが、大阪・関西万博の関連需要の更なる獲得、同工事終了後の A T C ホール再開に向け更なる貸館営業の強化に努め、営業収益の増加を図る。
- ・ 上記の取り組みにより、中期計画を上回る資金残高目標とする。

【指標：資金残高】

(単位：百万円)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
資金残高	4,851	4,187	4,996	4,504

(目標 2) オフィス部門の収益確保

- ・ 大阪・関西万博に関連する工事事務所や運営受託会社などを中心に誘致活動を行う。
- ・ 館内環境の整備等を通じたテナントの満足度向上により、オフィスビルとしての価値向上に努める。
- ・ 令和 6 年度の営業利益においては、上記の誘致活動により中期計画を上回る目標とする。

【指標：オフィス部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
営業利益	2,811	2,662	2,694	2,643

(目標 3) 商業部門の収益確保

- ・課題であるオズ棟南館の活性化を更に進めるため、現在供用停止しているウミエール広場のクリスタルルームを改修するなど、広場全体の賑わいと集客向上に努め、オズ棟南館の空き区画へのテナント誘致活動を行う。
- ・令和 6 年度の営業利益においては、I T M 棟 2 階区画が誘致交渉中であり、その影響により中期計画から減少する目標とするが、開業 30 周年を契機とした商業店舗の売上に資する企画を行い全館の活性化に努める。

【指標：商業部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
営業利益	355	384	368	310

(目標 4) ホール部門の収益確保

- ・特定天井脱落対策工事の実施に伴い、A T C ホールを 7 月末日から約 4 ヶ月間休館する。
- ・A T C ホールの休館中においても、ギャラリー、イベントスペースなど、他のスペースを効果的に使いながら貸館需要の獲得や自主催事の開催に努める。
- ・特定天井脱落対策工事終了後の再開に向けて、更なる貸館営業の強化に努める。
- ・令和 6 年度の営業利益においては、特定天井脱落対策工事の実施に伴う A T C ホールの休館により、前年度比較では営業利益は大きく減少するが、上記の取り組みにより中期計画を上回る目標とする。

【指標：ホール部門営業利益】

(単位：百万円)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
営業利益	242	172	492	389

(目標 5) 公共部門の活性化

- ・万博開催 1 年前のタイミングで、現行のTEAM EXPO 自然・環境セッションに加え、ヘルスケア・クリエイティブ・グローバルの 4 セッションへと拡大し、3 ヶ月毎に催事を開催するなど、万博の機運醸成とビジネスマッチングの促進に努める。また、ゾーンリニューアルによる展示場の魅力向上に向けた取り組みを進め、出展企業の誘致に努める。
- ・令和 6 年度の出展者数においては、上記の取り組みにより中期計画を上回る目標とする。

【指標：出展者数】

(単位：社)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
出展者数	395	348	372	353

(目標 6) 来館者数の増加

- ・プロモーションライブの誘致やサブカルチャーにかかる取り組みを一層進めるなど、他施設にない魅力づくり・チャレンジする場の提供を発信し、更なる賑わいの創出に努める。
- ・地域連携においては、MICE と実証実験を軸に、咲洲プレ万博を継続発展させ、万博の機運醸成に取り組む。また、先端技術や万博に関連する実証実験のフィールドを提供し、地域活性化に取り組む。
- ・令和 6 年度に来館者数においては、特定天井脱落対策工事の実施に伴う A T C ホールの休館により前年度比較では来館者数は減少するが、上記の取り組みにより中期計画を上回る目標とする。

【指標：来館者数】

(万人)

	令和 6 年度 (目標)	中期計画	令和 5 年度 (実績)	令和 4 年度 (実績)
来館者数	587	584	627	552